

### 【漢字の書き】

視覚認知や空間認知が弱いと、漢字の複雑な形や位置関係が捉えにくかったり、漢字の構造や規則性などの方略を考えて書字することが難しくなります。また、記憶や想起する力が弱いと、ノートや板書の視写の時に、一字や一画ずつ見ながら写すので時間がかかってしまいます。加えて、手指の不器用さや不注意・衝動性がある場合も、崩れた形になったり、線を一本書き忘れてたりなど、正しい形が書けなかったりします。

漢字がうまく読めない場合は、書くことも難しくなると言われています。

視覚認知が弱い場合は、画要素を色分けしてわかりやすくしたり、へんやつくりなどの形の構成の理解を促しながら、漢字書字指導を行っていきます。また、画要素を言語化することで漢字の形を捉えることは効果的ですが、聴覚的記憶が弱い場合には、言語的てがかりは、学習課題を複雑にしてしまうので注意が必要です。

キーボード入力や音声入力、ノートや黒板を写真に写すなどの書きの代替手段を活用することが必要な場合もあります。

苦手な漢字を、繰り返し書いて練習するのではなく、子ども一人ひとりの特性に合った教材の使用や指導を行うことが大切です。